

図1 都道府県別にみる新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間合計

第68回（令和4年1月20日）
新型コロナウイルス感染症対策
アドバイザリーボード

資料3-6

高山先生提出資料

沖縄県では、1月3日以降、オミクロン株への置き換わりとともに急速に感染拡大を認めている。しかし、1月13日以降、新規陽性者数の伸びは鈍化してきている。

沖縄県

大阪府

広島県

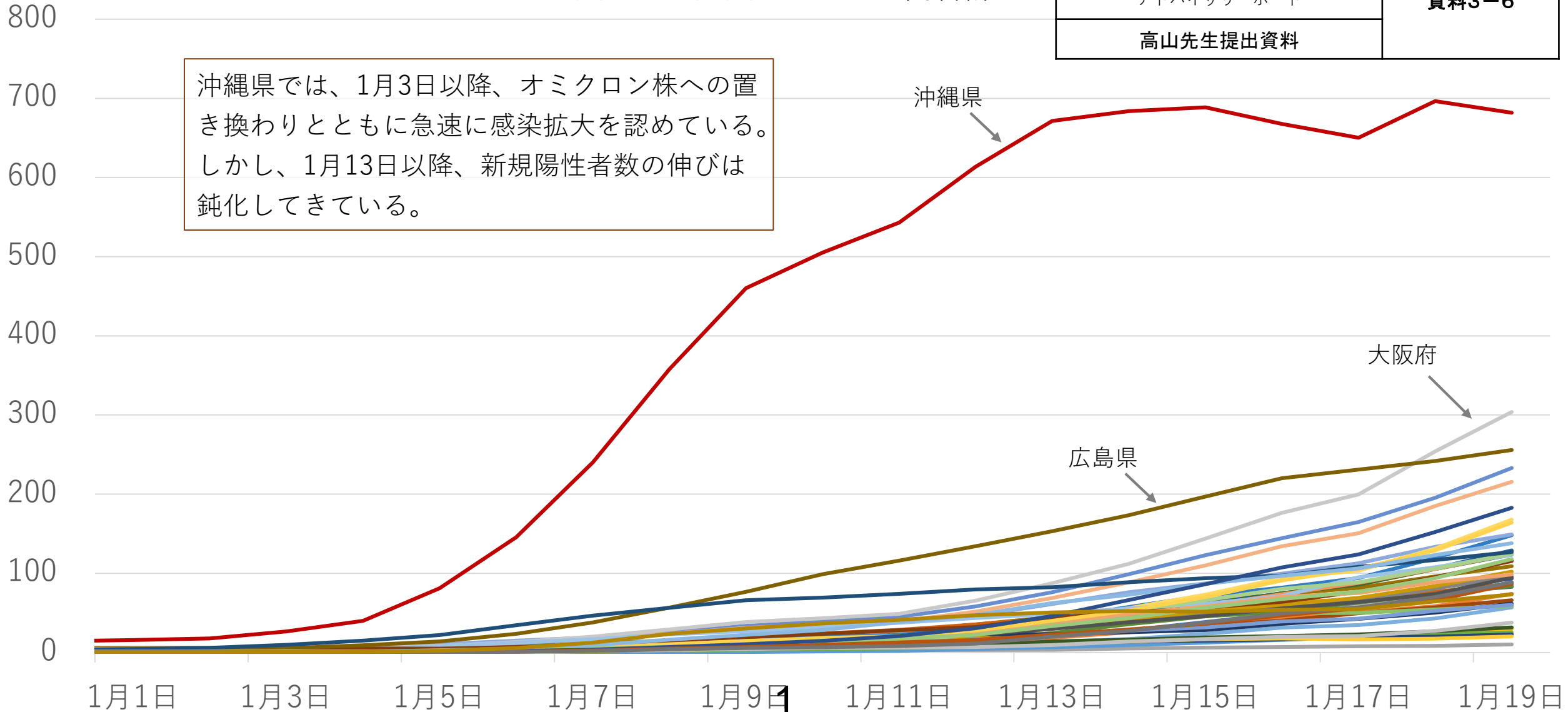


図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (1月12日~18日)

n=9,894 (不明の20人を除く)

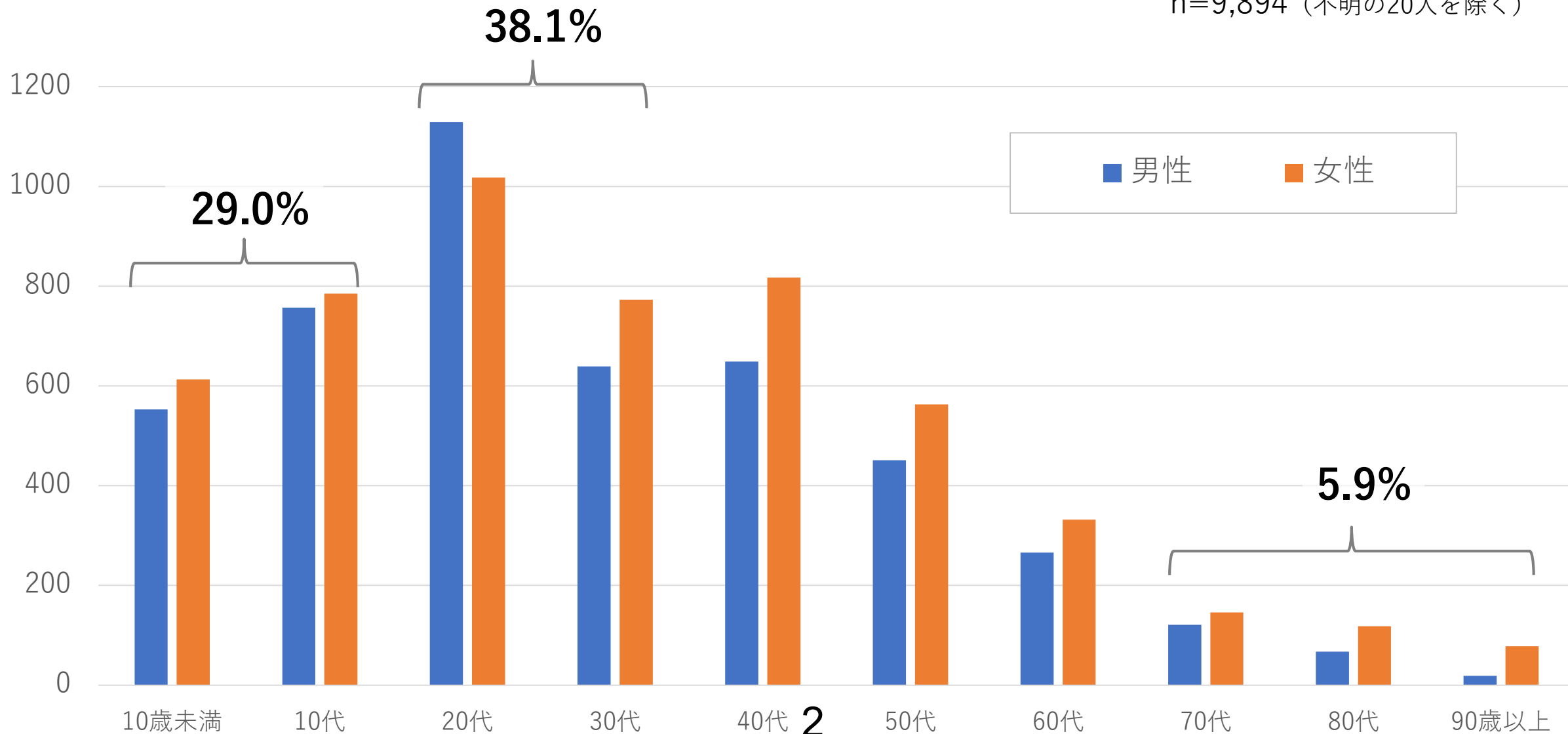


図3 新規陽性者における年齢階級別割合の日別推移（沖縄県）

若者中心だった感染が、小児、中高年へと全世代へと拡大している。一方、20代の陽性者数は減少している。

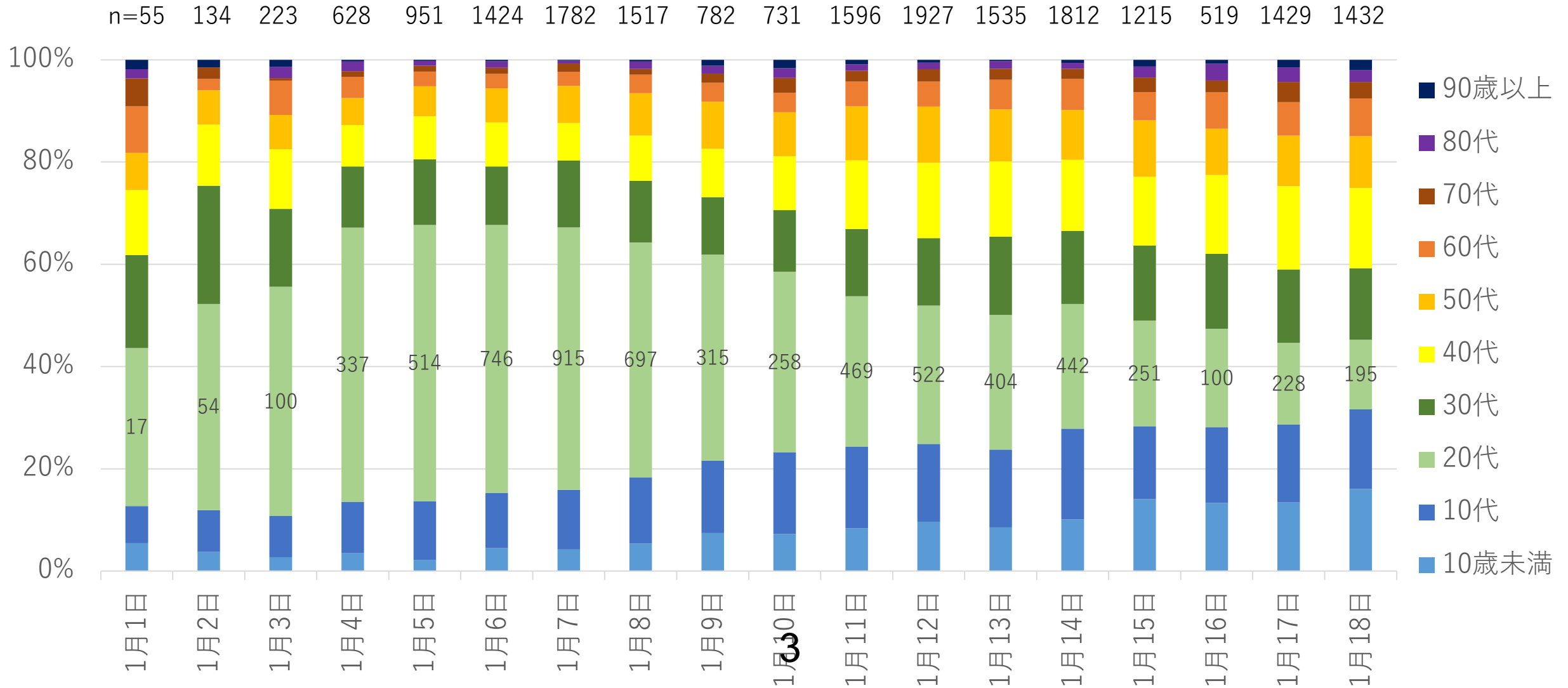
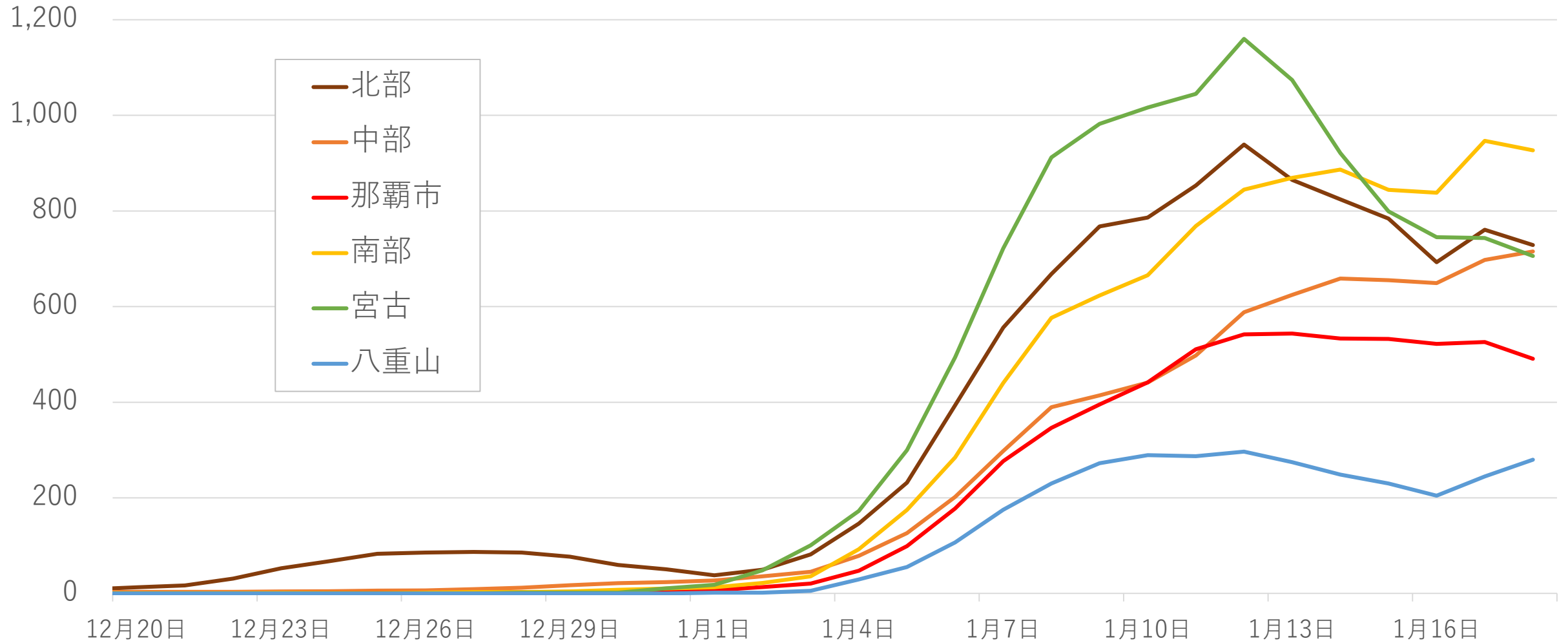


図4 保健所管区別にみる新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計



4

重点措置（全県）

図5 療養場所と重症度別の療養者数（1月19日時点）

| 場所 | 重症度 | 人数 (%) | |
|-----|------------|--------|----------|
| 入院 | 入院合計 | 380 | 3.3% |
| | ECMO | 0 | 0.0% |
| | 重症（気管挿管） | 6 | 0.1% |
| | 中等症Ⅱ（酸素投与） | 81 | 0.7% |
| | 中等症Ⅰ | 130 | 1.1% |
| | 軽症 | 163 | 1.4% |
| ホテル | 無症候・軽症 | 323 | 2.8% |
| 施設 | 施設合計 | 168 | 1.4% |
| | 中等症Ⅱ（酸素投与） | 23 | 0.2% |
| | 中等症Ⅰ | 6 | 0.1% |
| | 無症候・軽症 | 139 | 1.2% |
| 自宅 | 無症候・軽症 | 10,802 | 92.5% |
| 合計 | | 11,673 | 5 |

新型コロナウイルス感染症としての呼吸器症状が軽症（肺炎なし）ということであって、基礎疾患（糖尿病など）を増悪させたり、合併症（心筋梗塞など）を併発しており、全身状態不良の高齢者が多数入院している。また、妊婦や透析など医療依存度の高い若年者も少なくない。

| 重症度 | 療養者数 | |
|------------|--------|-------|
| ECMO | 0 | 0.0% |
| 重症（気管挿管） | 6 | 0.1% |
| 中等症Ⅱ（酸素投与） | 104 | 0.9% |
| 中等症Ⅰ | 136 | 1.2% |
| 無症候・軽症 | 11,427 | 97.9% |

図6 新規陽性者数および重症度別入院患者数

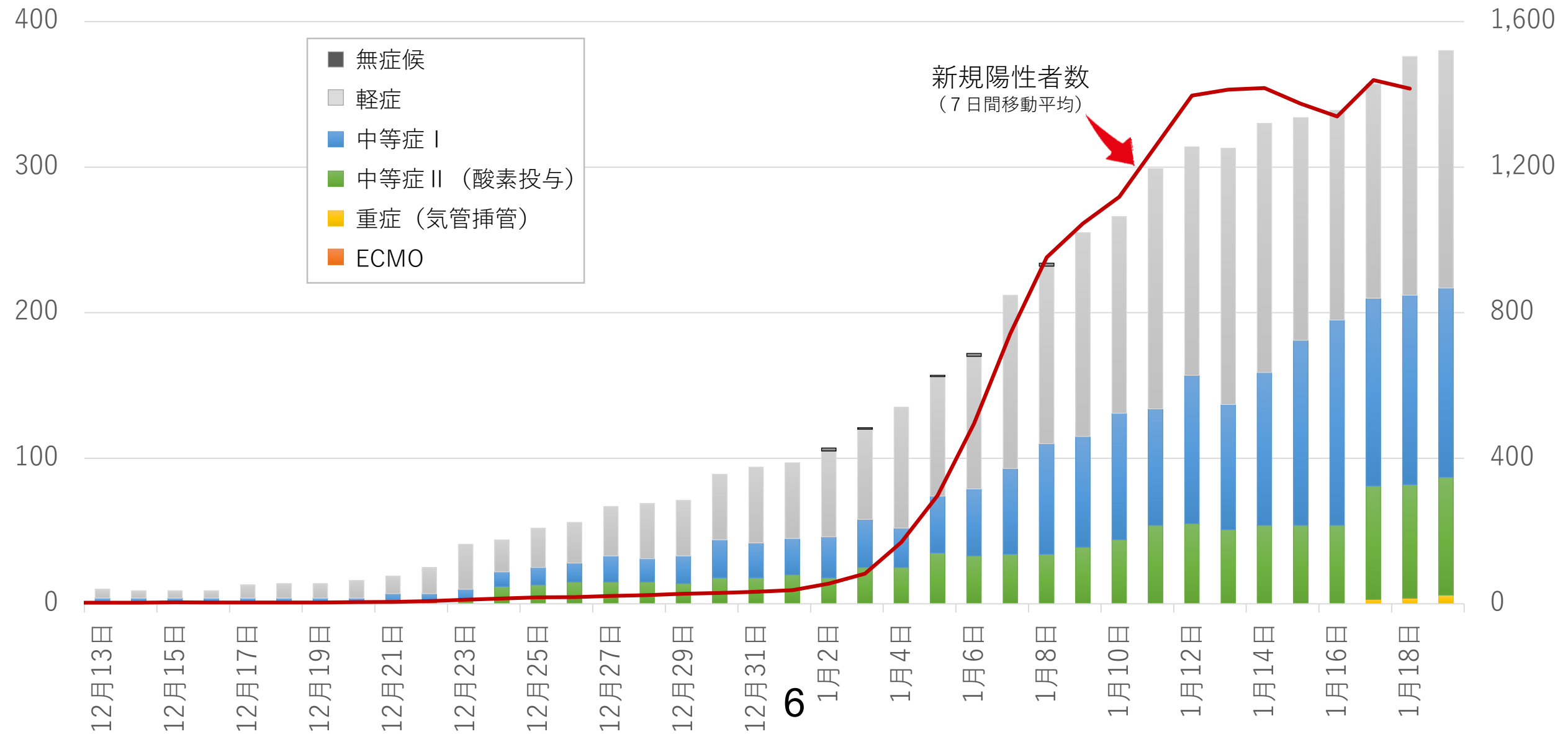
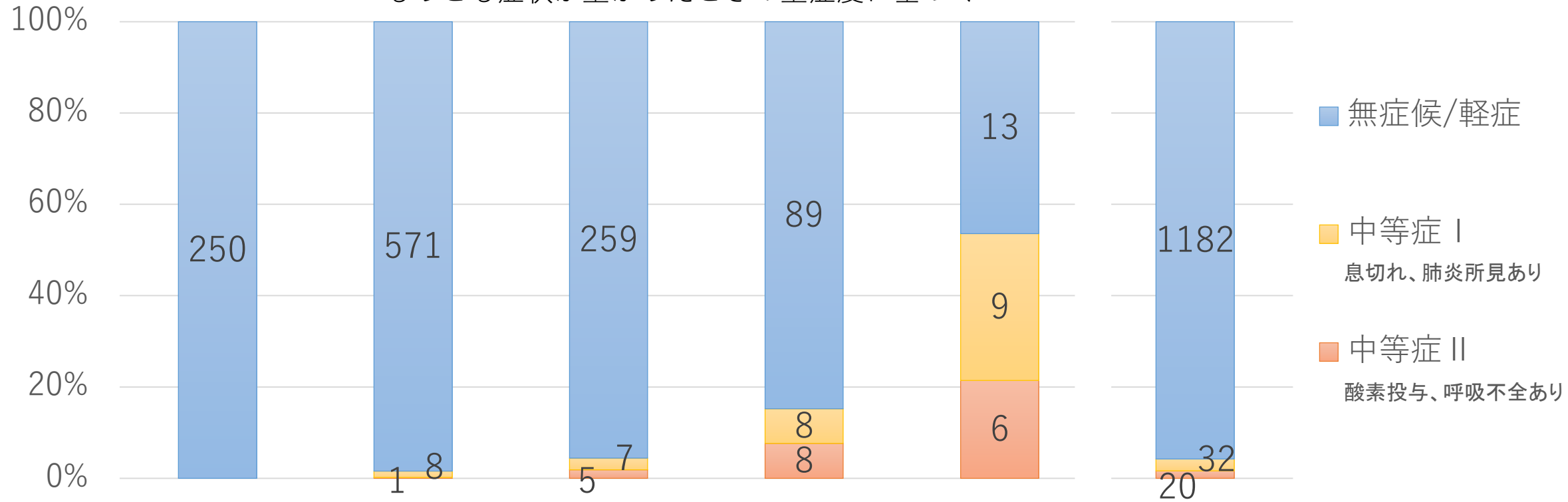


図7 新規陽性者における重症度（宮古・八重山医療圏 / 1月1日～16日）

もっとも症状が重かったときの重症度に基づく



| | 0-19歳 | 20-39歳 | 40-59歳 | 60-79歳 | 80歳以上 | 全年齢 |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 無症候・軽症 | 100.0% | 98.4% | 95.6% | 84.8% | 46.4% | 95.8% |
| 中等症Ⅰ | 0.0% | 1.4% | 2.6% | 7.6% | 32.1% | 2.6% |
| 中等症Ⅱ | 0.0% | 0.2% | 1.8% | 7.6% | 21.4% | 1.6% |
| 重症 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

発症早期には、ほとんどが軽症であるため、今後、中等症、重症が増加する可能性がある。

図8 年齢階級別入院患者数と入院受療率（沖縄県）

2022年1月1日から16日までに診断確定した患者16,841人について、1月19日までの入院の有無を確認した。

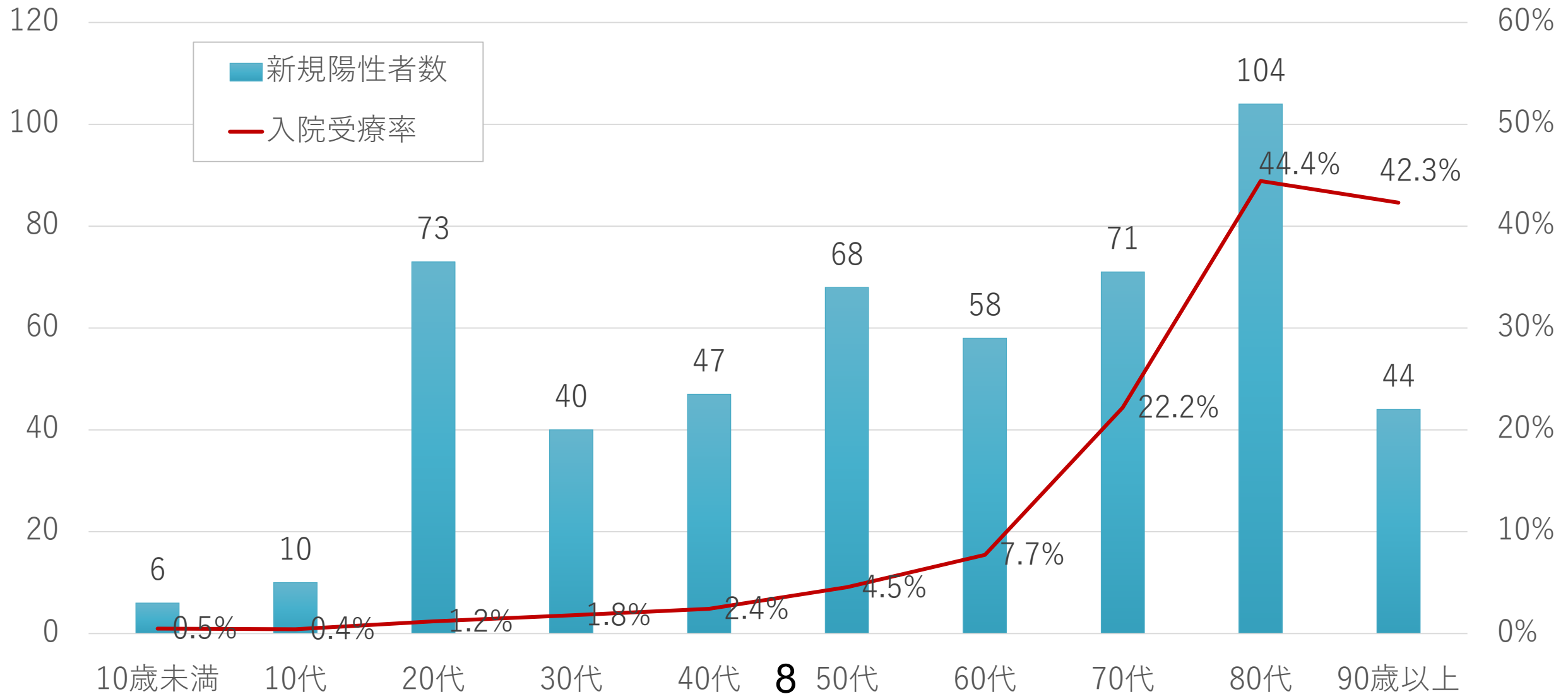
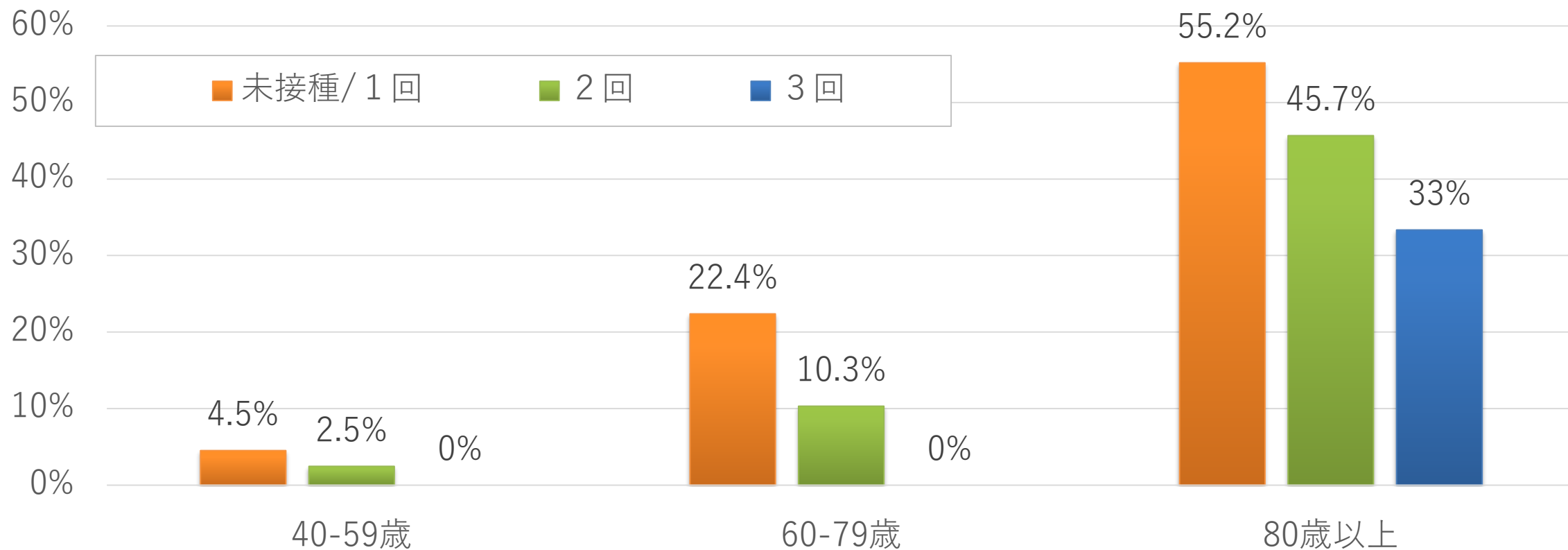


図9 ワクチン接種回数別にみる年齢階級別入院受療率（沖縄県）

2022年1月1日から16日までに診断確定した患者16,841人について、1月19日までの入院の有無を確認した。



| | 40-59歳 | | | 60-79歳 | | | 80歳以上 | | | |
|------|---------|-------|----|---------|-----|----|---------|-----|----|---|
| | 未接種/ 1回 | 2回 | 3回 | 未接種/ 1回 | 2回 | 3回 | 未接種/ 1回 | 2回 | 3回 | |
| 陽性者数 | 421 | 1,578 | 26 | 67 | 571 | 9 | 29 | 127 | 3 | |
| 入院数 | 19 | 39 | 0 | 15 | 9 | 59 | 0 | 16 | 58 | 1 |

図10 新規陽性者への対応と医療提供の流れ (沖縄県)

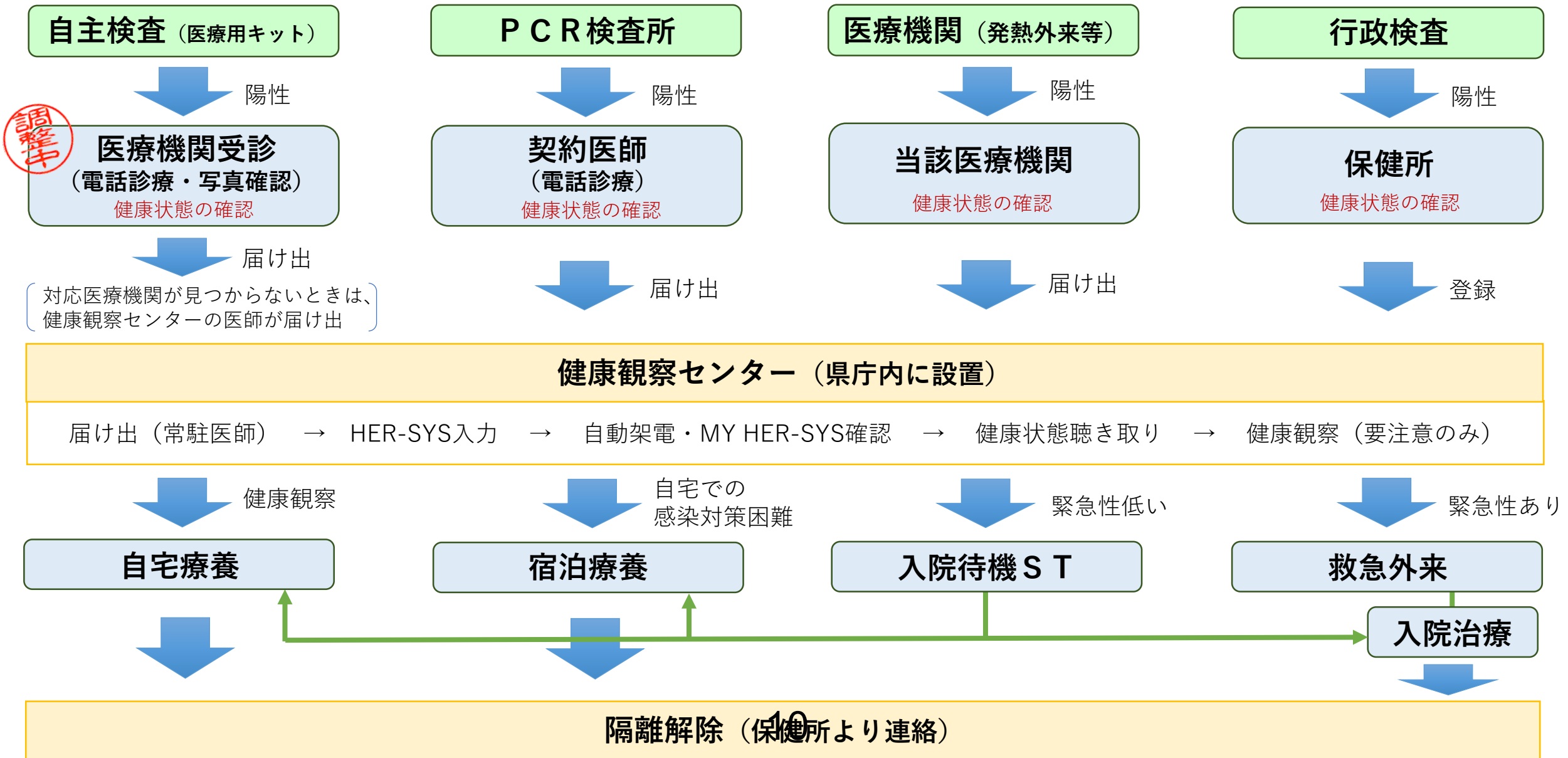


図11 高齢者の感染増加による入院需要増大への対応

入院受療率を下げる

- ・未接種者へのキャッチアップと3回目接種を迅速に進める。
- ・入院待機／酸素ステーションを整備・拡張する。
- ・地域診療所の参画により、コロナ患者の在宅医療を推進する。

入院期間を短縮する

- ・ハイリスク者に対して治療薬を早期かつ広範に投与する。
- ・退院・転院調整を円滑化する（各医療機関に任せず支援）。
- ・療養ホテルを拡張し、自立レベルの患者の早期退院を受け入れる。

図12 平均在院日数の推移（沖縄県立中部病院）

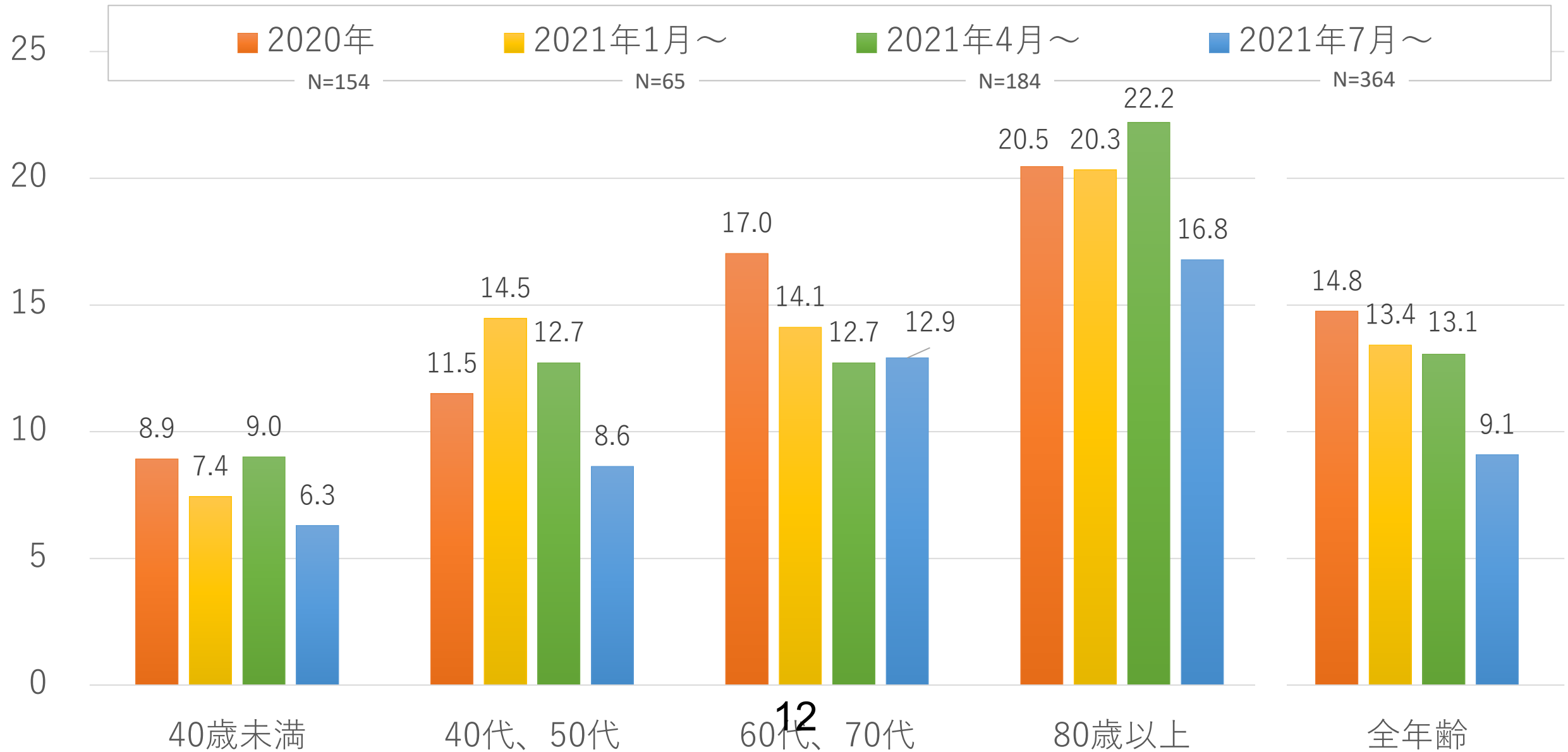
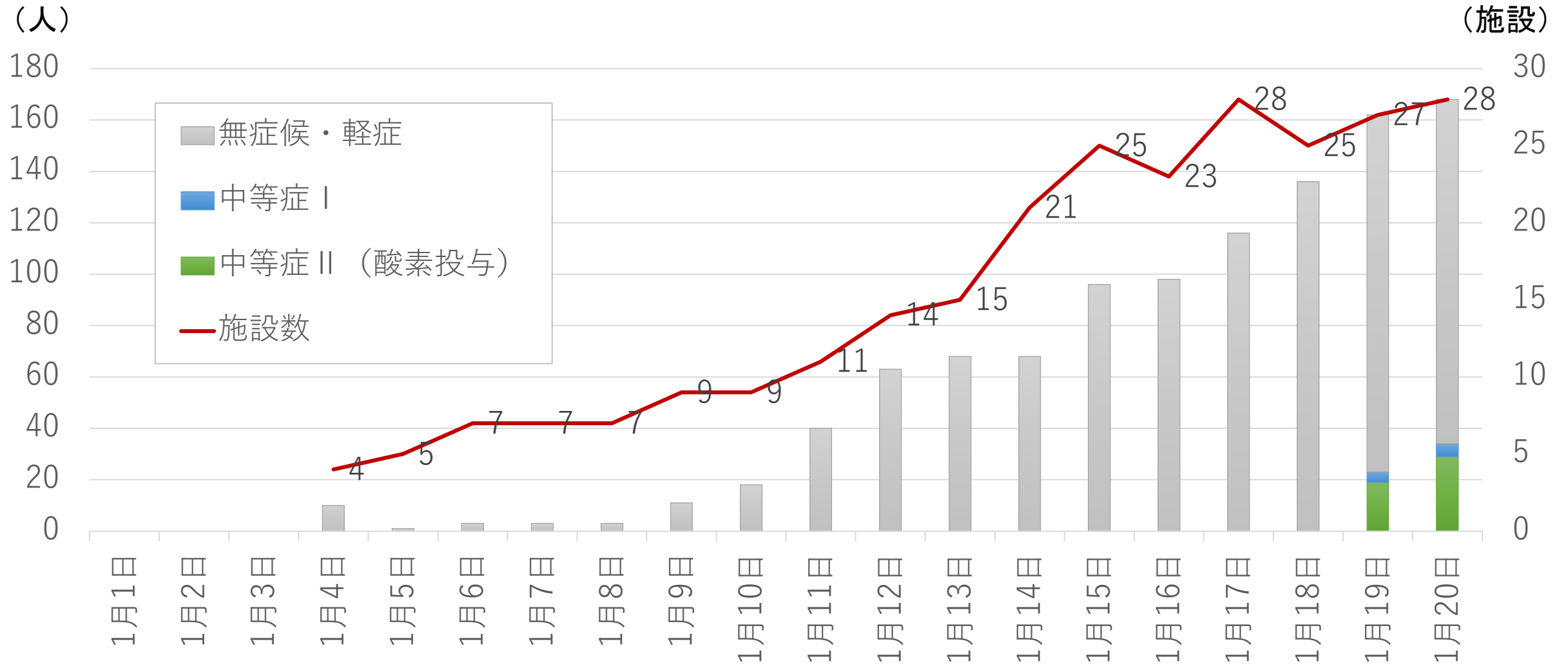


図13 社会福祉施設における陽性者施設療養の状況（沖縄県）



施設療養開始(基準2)

高齢者への感染拡大とともに、急速に施設療養数が増加している。28施設にのびっており、療養者のみならず、施設支援が重要な課題。

図14 社会福祉施設における集団発生への対応基準 (沖縄県)

現在の
対応基準



基準 1 全例入院
濃厚接触者については施設内でゾーニング

基準 2 中等症Ⅱ、重症について入院
軽症者については医師が巡回して診療

基準 3 重症について入院
中等症Ⅱまでは施設内で薬剤および酸素投与

基準 4 原則として全例施設待機
避けるべき状況

やむを得ない状況

図15 社会福祉施設における集団感染 支援の流れ（沖縄県）

職員もしくは入居者に1人でも陽性者を確認



地域の医療機関と保健所、
県クラスター対策班で共有

迅速対応チームによる原則24時間以内の介入

- ① 感染対策の指導
- ② 集中的検査の実施
- ③ 資機材の供給



陽性者が複数発生した場合

どこまで施設療養を継続するかを決定（基準を参照）

- ① 地域における病床ひっ迫の状況。重症度別の受け入れ可能性。
- ② 施設内における感染拡大の見通し。ゾーニングの確立状況。
- ③ 施設の対応能力、ガバナンス。職員の理解と納得。
- ④ 外部からの継続的な支援の可能性（巡回医師、訪問看護、ロジ）。



施設職員による対応が困難な場合

施設内に支援本部の立ち上げ



図16 重点医療機関における医師、看護師の休職数

